

# 高松体指たより

VOL. 29



H21.1.31 / 2.1 四国地区体育指導委員研修会



H20.12.7 第11回高松市元氣ハツラツドッジボール大会



H21.2.22 第1回高松市ダイヤゾーン・ボール大会

**のびのびスポーツ!!**  
**いきいきけんこう!!**

<http://www.5f.biglobe.ne.jp/~taishi-takamatsu/>

## 第11回 高松市元氣ハツラツ

### ドッジボール大会

## 第2回 高松市クイーンズカップ ドッジボール大会

### ドッジボール部長講評

平野 朋也

十二月七日のドッジボール大会の時は、指導委員みなさまのお蔭で無事に終わることができありがとうございました。

少し反省点もありましたが、次回に向け改善し、より楽しい大会にしたいと思えます。また次回大会にもより多くのチームが参加していただきますよう宜しくお願いいたします。

### 元氣ハツラツ

優勝 二番丁校区  
準優勝 中央校区  
三位 日新校区

### 優勝チームコメント

二番丁校区監督 村井 義和

十二月七日の第十二回元氣ハツラツドッジボール大会において、当チームが念願の優勝をすることができました。

当チームは第一回大会から参加し、四回大会ぐらまでは「勝もすることが出来ず、まず「勝！」を目標に参加してきました。チームも成人ソフトを母体に構成し、日ごろのチームワークと、若い選手の活躍で前々

回、前回と準優勝をすることが出来ました。

また前回は優勝を目前にして悔しい負け方をしたので、今回はみんな気合が入ったのだと思います。練習も一度しか出来ませんが、ドッジボールを楽しみ、ルールをよく勉強し、チームワークの良さが勝因だったと思います。

最後になりましたが、応援してくださった方々本当にありがとうございます。うございませう。



### クイーンズカップ

優勝 檀紙校区  
準優勝 香南校区  
三位 栗林校区

### 優勝チームコメント

檀紙校区 島崎須美代

終了の笛の音とともに「やった！優勝やあ」コートの中を拳を突き上げ歓声が沸き起こりました。

我が檀紙チームは、二十歳前半から五十歳まで幅広い年齢層が集まったチームです。練習は二回ほどしか出来なかったのですが、各自の特性を活かして自分のやれることを精一杯やろうと頑張りました。今回の勝因は「とにかく逃げて逃げて生き残ろう」

をスローガンに全員の心がひとつになった事

と、五分間という短い時間を攻守に上手く配分することが出来たことではないでしょうか！

来年は追われる立場になった訳ですが、メンバーの若返りをはかり二連覇目指して頑張りたいと思います。



### ★ドッジボール大会に初参加して

太田南校区 英 早苗

ドッジボールと聞いて、小学校の運動場でおてんば振りを発揮していた頃を思い出しながら参加しました。にわか寄せ集めチームで練習開始！「初めまして」の顔合わせの後、ルールを頭で覚える。これがなかなか手強くて、錯付いた脳と冬眠中の筋肉がピクピクして悲鳴をあげました。二回目の練習は、素人集団ながら「あれやこれや」と必勝策を練りました。

いざ本番！久々の緊張感、二試合終わる毎にチームワークが良くなっているのを感じ、三試合目で初勝利！優勝したような感動でした。

仕事・家事・育児に終われる日常をしばし忘れて、わくわくドキドキの一日でした。予選通過は叶いませんでしたが、決勝戦の珍プレー好プレーを観戦して、イメージトレ



ニングをして帰りました。来年はもっともっととチームワークの良い所をお見せできると思います。

この大会に参加して地域の中に新しい人の輪(和)が広がりました。これはお世話してくださった体育指導委員の方々のお陰であると感謝しています。本当にありがとうございます。



## 第1回

## 高松市ダイヤゾーンボール大会

優勝 日新校区  
 準優勝 仏生山校区  
 三位 大野校区

## 優勝チームコメント

日新校区 伊勢島俊幸

ダイヤゾーンボールを始めて丸二年。誉ある第一回大会優勝をかざされて日新体協、体育指導委員の方々に面ほくが立ちます。

大変有難う御座います。



## ● 部長講評

普及部長 深谷 茂徳

「二エーススポーツで始める・地域の輪・仲間づくり」をテーマにした、第二回高松市ダイヤゾーンボール大会が二月二十一日高松市香川総合体育館で行われました。参加三十二校区、最年少二十六歳、最年長七十四歳の選手が参加し、頂点を極めたのは日新校区、準優勝・仏生山校区、三位・大野校区、四位・屋島校区でした。

各校区とも熱心に練習していたとき、記念すべき第二回大会も成功裏に終え、普及部の役割が果たせたかなと自負しています。改善すべき点など、ご意見ください。

## ★ 大会を終えて

木太南校区 丸吉江利子

以前、何度かダイヤゾーンボールの研修を受けたことがある。ルールはほとんど記憶になく、ボールがゴールに達した時、カラントーンと鐘が鳴るのを感じていた。まさかその競技にこんなに関わるとは思ってもみなかった。第二回大会にかける部長の責任感には頭が下がる。それを汲んだ普及部員の団結、突発的に入る講習等にも意欲的に参加してくれた。多くの校区でつぎつぎ「練習をします」という声があり、そこに参加させてもらい審判の練習、ルールの確認、見直しをしたり……。ほとんどの部員がダイヤゾーンボールを経験してないので、校区での練習の積み重ねが成功につながったと思う。

大会が終わった時「お疲れさま、普及部頑張っていますね。」と、ねぎらいの声をかけ

てもらい、今までの緊張が心地よい疲れに変わった。今回の反省点を基に、来年度以降、より良い大会にしたいと思います。

## ダイヤゾーンボール大会

## アンケート結果

広報部

第一回の大会に参加して頂いたチームのみなさんにお配りしたアンケート用紙から、感想のご意見をまとめてみました。

感想としては「楽しかった、次回が楽しみです」という感想をたくさん頂きました。

ご意見は、コート設置に関して「運営方法、ルールに関して等、貴重な御意見、アドバイスを頂きました。」

アンケート結果は、次回大会に向けて参考にさせて頂き、よりスムーズな進行、より正確なジャッジを目指し、普及部を中心に連絡協議会全体で取り組んで行かなければと思います。



## 平成二十年度四国地区 体育指導委員研修会

### 会長表彰を受賞して

弦打校区 森 綾子

この度は、平成二十年度四国地区体育指導委員協議会会長表彰を頂き厚くお礼申し上げます。このような栄えある賞を頂くことができたのは、行政、体指、地区体協の方々のお陰と心から感謝しております。私にとって最高のプレゼントです。

これを節目に、また気持ちを引き締め、少しでも皆様のお役に立てるよう、がんばりたいと思いますので、よろしくお願いします。

### 会長表彰を受けて

古高松南校区 柳川 邦江

平成二十二年二月二十二日・二月二日の二日の日程で、第四十四回四国地区体育指導

## 平成21年度行事予定抜粋

### <後期カレッジ開催!!>

- ★ 市民スポーツカレッジ⑤⑥  
平成21年7月5日(日)  
於：仏生山体育館
- ★ 市民スポーツカレッジ⑦⑧  
平成21年8月2日(日)  
於：高松市役所13階大会議室

### <研修会に参加しよう!!>

- ★ 香川県体育指導委員研修会  
平成21年6月14日(日)  
於：香川総合体育館
- ★ 全国体育指導委員研究協議会  
平成21年11月19日(木)  
～20日(金)  
於：山口県
- ★ 四国地区体育指導委員研修会  
平成22年1月23日(土)  
～24日(日)  
於：愛媛県

### <お楽しみの研修旅行>

平成22年3月13日(土)～14日(日)  
場所未定



発行／高松市体育指導委員  
連絡協議会  
編集人／城門政文  
編集／広報社  
印刷所／万成社

題字・高松市長 大西 秀人



委員研修会が高知市文化プラザかるぼーとで行われました。その会場の壇上に、受賞者として立てるとは夢にも思わぬ事でした。十四年間一生懸命に頑張ったのは、一人では出来ない事や迷いにも体指の仲間の助言や地域の皆様のご協力と、家族の理解があったからだと感謝の気持ちでいっぱいです。名誉ある賞を頂き、光栄に思うと共に、賞に恥じないようこれから人と人との出会いを大切に少しし肩の力を抜いて、生涯スポーツを頑張りたいと思います。本当にありがとうございました。

### 四国地区体育指導員研修会を受講して

国分寺南校区 溝淵 功

私は、この研修会を受講するまでメタボの怖さを全く知らなかった。平成九年メタボ予備軍を含め患者総数約千三百七十万人が平成十九年には患者総数約二千二百十万人(平成九年比約八百四十万人増加)に増加しているのがある。主な原因は過栄養に加え運動不足が重なり内臓脂肪(内臓に脂肪がたまること)となるからである。又、内臓脂肪の増加により、血糖・血圧が上昇し、糖尿病になる確率が一般人に比べ約五倍と高くなっていることがわかった。

よってメタボ対策として、人間誰かが好きである食事を腹八分目にする、そして、二週間約二五〇分の適度な運動をすることが必要であると理解できた。

私もこの研修会参加後、二月に入り、メタボ対策として毎日散歩を約三〇分行っている。また研修会に初めて参加し、大変有意義な時間を過ごせたと感じている。

### ○ 編集後記 ○

梅の香薫る二月、私たちの先輩が病にて亡くなられました。スポーツを愛し、花を愛し、旅を愛した人でした。早すぎる旅立ちでした。広報部の先輩でもあった彼女には、部長を拝命したころはもちろん、常日頃から叱咤激励を受けることが多くありました。「初心忘れるべからず。」彼女のご冥福を祈るとともに、これまでに受けた薫陶を今後の活動に活かして行きたいと改めて思いました。

「体指だより二十九号」をお届けします。  
広報部 今井由美子

### ◆ インフォメーション

#### お見舞い

坂東 和子 屋島東校区  
久保公四郎 栗林校区  
川西 裕 林校区

